

当ファンドの仕組みは次の通りです。	
商品分類	追加型投信／海外／その他資産（バンクローン）
信託期間	2024年5月20日まで（2014年5月27日設定）
運用方針	主として円建ての外国投資信託であるウエスタン・アセット・米国バンクローン（オフショア）ファンド－ＪＰＹ アンヘッジド・クラスの投資信託証券への投資を通じて、米国企業が発行する米ドル建てのバンクローン（貸付債権）等を中心に実質的な投資を行い、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。 当該外国投資信託においては、米国企業が発行する米ドル建てのハイイールド債券等にも投資を行います。 なお、証券投資信託であるマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券への投資も行います。円建ての外国投資信託への投資は高位を維持することを基本とします。 実質的な組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 投資対象とする円建外国投資信託の運用は、ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニーが行います。 円建外国投資信託等への投資にあたり、ウエスタン・アセット・マネジメント株式会社の投資助言を受けます。
主要運用対象	米国バンクローン・オープン＜為替ヘッジなし＞（年1回決算型）
	ウエスタン・アセット・米国バンクローン（オフショア）ファンド－ＪＰＹ アンヘッジド・クラスおよびマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券を主要投資対象とします。
	米国企業が発行する米ドル建てのバンクローン等を主要投資対象とします。
主な組入制限	マネー・マーケット・マザーファンド
	わが国の公社債等を主要投資対象とします。外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	投資信託証券への投資割合に制限を設けません。外貨建資産への直接投資は行いません。
	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
※公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の適用対象です。
詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書(全体版)

米国バンクローン・オープン

＜為替ヘッジなし＞

（年1回決算型）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、お手持ちの「米国バンクローン・オープン＜為替ヘッジなし＞（年1回決算型）」は、去る5月20日に第1期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

三菱UFJ投信株式会社は2015年7月1日に国際投信投資顧問株式会社と合併し、「三菱UFJ国際投信株式会社」となる予定です。



東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
URL:<http://www.am.mufg.jp/>

本資料の記載内容に関するお問い合わせ先

営業企画推進部
お客様専用フリーダイヤル

TEL. 0120-151034
(9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

お客様のお取引内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。

◆ 目 次

米国バンクロン・オープン<為替ヘッジなし>（年1回決算型）のご報告

◇設定以来の運用実績	1
◇当期中の基準価額と市況等の推移	1
◇運用経過	2
◇今後の運用方針	7
◇1万口当たりの費用明細	8
◇売買及び取引の状況	9
◇利害関係人との取引状況等	9
◇組入資産の明細	10
◇投資信託財産の構成	10
◇資産、負債、元本及び基準価額の状況	11
◇損益の状況	11
◇お知らせ	12

投資対象ファンドのご報告

◇ウエスタン・アセット・米国バンクロン（オフショア）ファンド-JPY アンヘッジド・クラス	13
◇マネー・マーケット・マザーファンド	15

「ウエスタン・アセット・米国バンクロン（オフショア）ファンド-JPY アンヘッジド・クラス」につきましては、現時点で入手し得る直近の決算データが存在しないため、掲載しておりません。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	準 拠 税 分 配	価 額 騰 落 率	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	投 資 信 託 証 組 入 比 率	純 資 産 額
(設定日)	円	円	%	%	%	%	百万円
2014年5月27日	10,000	—	—	—	—	—	3,438
1期(2015年5月20日)	11,857	—	18.6	0.0	—	98.9	19,719

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 当ファンドは、米国企業が発行する米ドル建てのバンクロン（貸付債権）等を中心に実質的な投資を行い、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざしますが、特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額 騰 落 率	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	投 資 信 託 証 組 入 比 率
(設定日)	円	%	%	%	%
2014年5月27日	10,000	—	—	—	—
5月末	9,971	△ 0.3	0.1	—	104.0
6月末	9,942	△ 0.6	0.0	—	103.4
7月末	10,074	0.7	0.0	—	100.4
8月末	10,162	1.6	0.0	—	99.7
9月末	10,619	6.2	0.0	—	100.1
10月末	10,584	5.8	0.0	—	99.0
11月末	11,450	14.5	0.0	—	99.0
12月末	11,567	15.7	0.0	—	99.9
2015年1月末	11,348	13.5	0.0	—	99.0
2月末	11,608	16.1	0.0	—	99.0
3月末	11,703	17.0	0.0	—	99.0
4月末	11,665	16.7	0.0	—	99.1
(期 末)					
2015年5月20日	11,857	18.6	0.0	—	98.9

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 騰落率は設定日比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

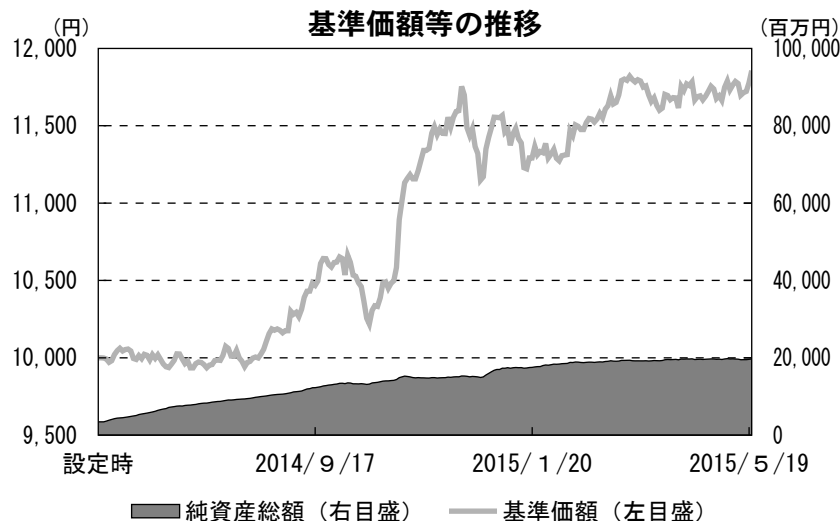
運用経過

当期中の基準価額等の推移について

（第1期：2014/5/27～2015/5/20）

基準価額の動き

基準価額は設定時に比べ18.6%の上昇となりました。



第1期首 : 10,000円
第1期末 : 11,857円
（既払分配金 : 0円）
騰落率 : 18.6%

基準価額の主な変動要因

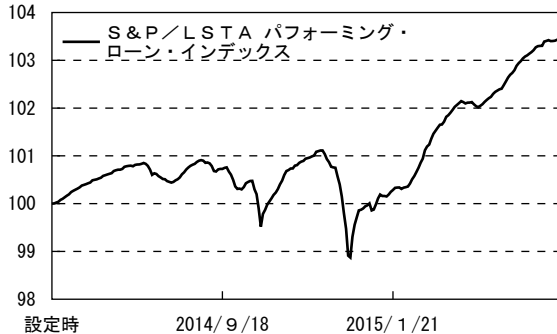
上昇要因

バンクローン市況が上昇したことや米ドルが対円で上昇したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

投資環境について

（第1期：2014/5/27～2015/5/20）

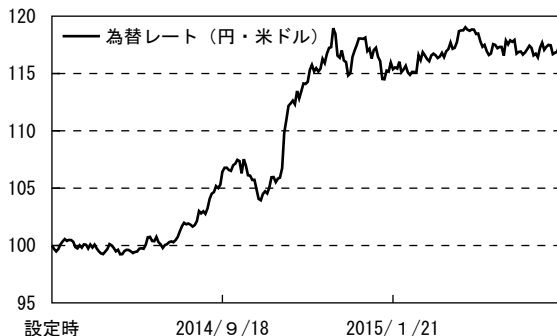
バンクローン市況の推移
（設定時を100として指数化）



（注）現地日付ベースで記載しております。

（注）S & P / L S T A パフォーマンス・ローン・インデックスとは、S & P社と米国のローン市場の業界団体であるL S T A（ローン・シンジケーションズ・アンド・トレーディング・アソシエーション）との提携のもとに算出されている、バンクローンの値動きを示す代表的なインデックスです。

為替市況の推移
（設定時を100として指数化）



（注）現地日付ベースで記載しております。

◎バンクローン市況

- ・設定時から2014年12月中旬にかけては、中東情勢の緊迫化など地政学的リスクが高まったことや原油価格の大幅な下落を背景に新興国債券やハイイールド債券市況が下落したことで投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどから、エネルギーセンター中心にバンクローン市況は下落しました。
- ・2014年12月下旬から当期末にかけては、原油価格が反発したこと、E C B（欧州中央銀行）が追加的な金融緩和策を発表したこと、米国で発表された経済指標が概ね良好な結果であったことなどを背景に、投資家のリスク回避姿勢が後退したことから、バンクローン市況は上昇しました。こうした環境下、当期を通じて見ると、主に継続的な利子収入の積み上げなどにより、バンクローン市況は上昇しました。

◎為替市況

- ・2014年10月末に開催されたF O M C（米連邦公開市場委員会）で量的緩和策の終了が決定された一方で、日銀金融政策決定会合で追加的な金融緩和策が決定されたことを受けて、日米金融政策の方向感の違いが意識されたことから、米ドルは対円で上昇しました。その後、原油価格の大幅な下落を受けて投資家のリスク回避的な動きが強まる局面がありましたが、米国で発表された経済指標が概ね堅調な内容であったことを背景に米国の早期利上げ観測が高まったことなどを受けて、米ドルは対円で底堅く推移しました。結果的に、当期を通じて見ると、米ドルは対円で上昇しました。

◎国内短期金融市場

設定来の短期金融市場を見ると、日銀は「量的・質的金融緩和」をめざし、マネタリーベースを操作目標として金融市場調節を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）は安定的に推移し、2015年5月20日のコール・レートは0.069%となりました。なお、日銀は2014年10月31日にマネタリーベース増加額および資産買入れ額の拡大などの「量的・質的金融緩和」の拡大を決定しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

＜米国バンクロン・オープン＜為替ヘッジなし＞（年1回決算型）＞

- ・当ファンドは、円建ての外国投資信託であるウエスタン・アセット・米国バンクロン（オフショア）ファンドーJPY アンヘッジド・クラスを高位に組み入れた運用を行いました。また、余裕資金を効率的に運用するため、マネー・マーケット・マザーファンド投資信託証券を一部組み入れた運用を行いました。

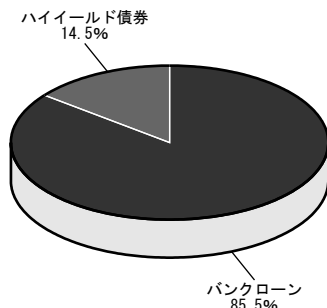
＜ウエスタン・アセット・米国バンクロン（オフショア）ファンドーJPY アンヘッジド・クラス＞

基準価額は設定時に比べ20.2%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

- ・外国投資信託においては、主に米国企業が発行する米ドル建てのバンクロンの比率を概ね85%程度、米国企業が発行する米ドル建てのハイイールド債券を概ね10～15%程度組み入れました。
- ・投資戦略については、格付配分では、リスク・リターン観点から低格付銘柄を選好しました。またセクター配分では、企業が保有資産に対する十分な担保を保持しているかどうか、また強固で継続的なキャッシュフローを生み出せるかどうか、といった観点から特にエネルギーセクターなどを選好しました。
- ・前記のような運用を行った結果、エネルギーセクターや低格付銘柄を選好したことなどはマイナスに影響したものの、バンクロン市況が上昇したことや米ドルが対円で上昇したことなどがプラスとなり、基準価額は設定時と比べて上昇しました。

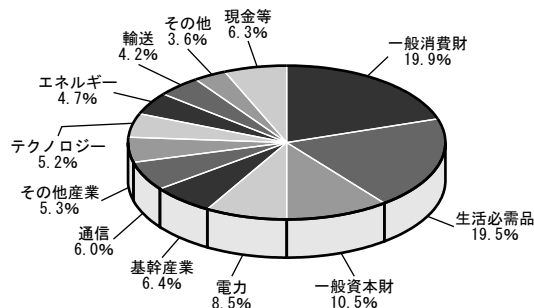
ウエスタン・アセット・マネジメント提供のデータ（現地月末前営業日基準）を掲載しています。

（ご参考）
種別構成
（2015年4月末）



（注）比率は組入バンクローン等の評価額に対する割合です。

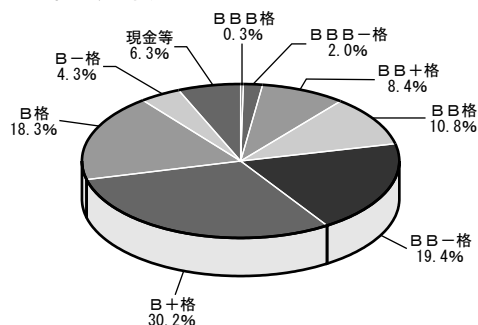
（ご参考）
組入上位10業種
（2015年4月末）



（注）比率は実質的な運用を行う外国投資信託の純資産総額に対する割合です。

（注）業種はパークレイズの業種分類を基に、ウエスタン・アセット・マネジメントが分類したものです。

（ご参考）
格付分布
（2015年4月末）



（注）比率は実質的な運用を行う外国投資信託の純資産総額に対する割合です。

（注）格付の表示にあたっては、S & P社、Moody's社、フィッチ・レーティングス社の3社のうち最も高い格付を採用しています。

（注）上記3社の格付を取得していない場合は、ウエスタン・アセット・マネジメントによる独自の格付を採用しています。

（ご参考）
組入上位銘柄
（2015年4月末）

（組入銘柄数：244銘柄）

	銘柄	種別	業種	比率
1	FIRST DATA CORPORATION FDC TL C1 1L USD	バンクローン	テクノロジー	1.4%
2	ABC SUPPLY CO INC ABCSUP TL B 1L USD	バンクローン	一般資本財	1.3%
3	NEIMAN MARCUS GROUP LTD LLC NMG TL 1L USD	バンクローン	一般消費財	1.1%
4	MURRAY ENERGY CORP MURREN TL B 1L USD	バンクローン	基幹産業	1.1%
5	PARTY CITY HOLDINGS INC PRY TL B 1L USD	バンクローン	生活必需品	1.1%
6	PAR PHARMACEUTICAL PRX TL B2 1L USD	バンクローン	生活必需品	1.1%
7	LAUREATE EDUCATION INC LAUR TL B 1L USD	バンクローン	その他産業	1.0%
8	UNIVISION COMMUNICATIONS UVN TL C4 1L USD	バンクローン	通信	1.0%
9	SERVICEMASTER COMPANY LLC SVMSTR TL B 1L USD	バンクローン	生活必需品	1.0%
10	MPH ACQUISITION HOLDINGS MLTPLN TL B 1L USD	バンクローン	保険	1.0%

（注）比率は実質的な運用を行う外国投資信託の純資産総額に対する割合です。

（注）業種はパークレイズの業種分類を基に、ウエスタン・アセット・マネジメントが分類したものです。

＜マネー・マーケット・マザーファンド＞

基準価額は設定時に比べ0.03%の上昇となりました。

コール・ローン等短期金融商品を活用しつつ、残存期間の短い国債を中心に組み入れ、利子等収益の確保を図りました。その結果、利子等収益を獲得したことから基準価額は上昇しました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・当ファンドは、米国企業が発行する米ドル建てのバンクローン（貸付債権）等を中心に実質的な投資を行い、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざしますが、特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。
- ・従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第1期
	2014年5月27日～2015年5月20日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	1,857

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

＜米国バンクローン・オープン＜為替ヘッジなし＞（年1回決算型）＞

◎今後の運用方針

運用の基本方針にしたがって、引き続き外国投資信託への投資を通じて、主に米国企業が発行する米ドル建てのバンクローン（貸付債権）などに実質的な投資を行うほか、米国企業が発行する米ドル建てのハイイールド債券などにも投資を行います。また、一部マネー・マーケット・マザーファンド投資信託証券の組み入れを維持します。

＜ウエスタン・アセット・米国バンクローン（オフショア）ファンドーJPY アンヘッジド・クラス＞

◎運用環境の見通し

- ・4月下旬に発表された米国の2015年第1四半期実質GDP（国内総生産）成長率が市場予想を下回るなど一部経済指標には軟調なものもみられますが、FOMC（米連邦公開市場委員会）声明文において、足下の経済成長の減速は一過性の要因によるものであり、今後の経済活動は緩やかなペースで拡大するとの見通しが改めて示されたことから、FRB（米連邦準備制度理事会）による利上げ実施時期は近づいてきていると考えます。ただし、利上げが開始されたとしても利上げのペースは非常に緩やかなものにとどまると予想します。このような環境下、企業の業績や財務状況は引き続き良好であり、バンクローンのデフォルト（債務不履行）率は今後も低位で推移すると見ています。

◎今後の運用方針

- ・今後の投資戦略については、企業が保有資産に対する十分な担保を保持しているかどうか、また強固で継続的なキャッシュフローを生み出せるかどうか、といった観点などに着目し、慎重な銘柄選択に努めます。格付配分においては、リスク・リターンの観点からBB格相当よりもB格相当といった低格付銘柄に引き続き注目しています。

＜マネー・マーケット・マザーファンド＞

◎運用環境の見通し

- ・国内景気は緩やかな回復局面に向かうものと思われそうですが、デフレ脱却に向けて日銀は「量的・質的金融緩和政策」を当面維持することが見込まれます。そうした環境下、短期金利は低位安定推移になると予想しています。

◎今後の運用方針

- ・運用の基本方針および前述の見通しに基づき、短期金融商品を活用しつつ、残存期間の短い国債を中心に投資し安定した収益の確保をめざしていく方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2014年5月27日～2015年5月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 130	% 1.195	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(46)	(0.418)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(81)	(0.745)	分配金・償還金・換金代金支払等の事務手続き、交付運用報告書等の送付、購入後の説明・情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(3)	(0.032)	投資信託財産の保管・管理、運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	0	0.003	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	130	1.198	
期中の平均基準価額は、10,891円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2014年5月27日～2015年5月20日)

投資信託証券

銘	柄	買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国内	ウエスタン・アセット・米国バンクローン（オフショア） ファンドーJ P Y アンヘッジド・クラス	千口 1,864	千円 19,213,768	千口 127	千円 1,413,570

(注) 金額は受渡代金。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄	設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
	マネー・マーケット・マザーファンド	千口 3,377	千円 3,438	千口 —	千円 —

○利害関係人との取引状況等

(2014年5月27日～2015年5月20日)

利害関係人との取引状況

＜米国バンクローン・オープン＜為替ヘッジなし＞（年1回決算型）＞

該当事項はございません。

＜マネー・マーケット・マザーファンド＞

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況 B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況 D	$\frac{D}{C}$
公社債	百万円 11,300	百万円 3,799	% 33.6	百万円 5,999	百万円 700	% 11.7
現先取引(公社債)	14,990	5,350	35.7	14,990	5,350	35.7

平均保有割合 0.1%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

(注) 公社債には現先などによるものを含みません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJモルガン・スタンレー証券、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2015年５月20日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘	柄	当 期 末	
		口 数	評 価 額
		千口	千円
ウエスタン・アセット・米国バンクローン（オフショア）ファンドー J P Y アンヘッジド・クラス		1,736	19,509,186
合 計		1,736	19,509,186

(注) 比率は米国バンクローン・オープン＜為替ヘッジなし＞（年１回決算型）の純資産総額に対する比率。

親投資信託残高

銘	柄	当 期 末	
		口 数	評 価 額
		千口	千円
マネー・マーケット・マザーファンド		3,377	3,439

マザーファンドの組入資産の明細につきましては、マザーファンド頁をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2015年５月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	19,509,186	98.0
マネー・マーケット・マザーファンド	3,439	0.0
コール・ローン等、その他	398,503	2.0
投資信託財産総額	19,911,128	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2015年5月20日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	19,911,128,227
コール・ローン等	295,242,597
投資信託受益証券(評価額)	19,509,186,173
マネー・マーケット・マザーファンド(評価額)	3,439,013
未収入金	103,260,000
未収利息	444
(B) 負債	191,672,591
未払解約金	85,250,217
未払信託報酬	106,177,042
その他未払費用	245,332
(C) 純資産総額(A－B)	19,719,455,636
元本	16,630,459,189
次期繰越損益金	3,088,996,447
(D) 受益権総口数	16,630,459,189口
1万円当たり基準価額(C／D)	11,857円

＜注記事項＞

- ① 設定元本額 3,438,867,114円
 期中追加設定元本額 17,541,039,982円
 期中一部解約元本額 4,349,447,907円

○損益の状況（2014年5月27日～2015年5月20日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	860,645,619
受取配当金	860,492,628
受取利息	152,991
(B) 有価証券売買損益	1,356,989,154
売買益	1,693,727,405
売買損	△ 336,738,251
(C) 信託報酬等	△ 169,481,046
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	2,048,153,727
(E) 追加信託差損益金	1,040,842,720
(配当等相当額)	(314,805,727)
(売買損益相当額)	(726,036,993)
(F) 計(D＋E)	3,088,996,447
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F＋G)	3,088,996,447
追加信託差損益金	1,040,842,720
(配当等相当額)	(314,805,738)
(売買損益相当額)	(726,036,982)
分配準備積立金	2,048,153,727

- (注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注) (E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

②分配金の計算過程

		第1期
費用控除後の配当等収益額	A	794,871,163円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	1,253,282,564円
収益調整金額	C	1,040,842,720円
分配準備積立金額	D	－円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	3,088,996,447円
当ファンドの期末残存口数	F	16,630,459,189口
1万円当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	1,857円
1万円当たり分配金額	H	－円
収益分配金金額	I=F*H/10,000	－円

*三菱UFJ投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<http://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

【お 知 ら せ】

- ①書面決議を行う場合の受益者数要件の撤廃を信託約款に記載し、信託約款に所要の変更を行いました。
(2014年12月1日)
- ②併合手続要件の緩和を信託約款に記載し、信託約款に所要の変更を行いました。
(2014年12月1日)
- ③買取請求の一部適用除外を信託約款に記載し、信託約款に所要の変更を行いました。
(2014年12月1日)
- ④運用報告書の二段階化について信託約款に記載し、所要の変更を行いました。
(2014年12月1日)
- ⑤2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

<参考>投資する投資信託証券およびその概要

ファンド名	ウエスタン・アセット・米国バンクローン（オフショア）ファンド－ＪＰＹ アンヘッジド・クラス	マネー・マーケット・マザーファンド
運用方針	主として米国企業が発行する米ドル建てのバンクローンに投資を行い、利子収益の確保をめざします。原則として、為替ヘッジは行いません。	わが国の短期公社債等を中心に投資し、利子等収益の確保を図ります。なお、市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。
主要運用対象	米国企業が発行する米ドル建てバンクローン等	わが国の公社債等
主な組入制限	・ 通常、純資産総額の80%以上をバンクローンに投資します。 ・ 通常、純資産総額の20%まで、ハイイールド債券等に投資できるものとします。 ・ 原則として、米国以外の先進国の企業が発行するバンクローンやハイイールド債券等への投資は純資産総額の20%以内とします。 ・ 原則として、米ドル以外の先進国通貨への投資は純資産総額の20%以内とします。この場合、米ドル以外の通貨売り、米ドル買いの為替取引を行います。 ・ 原則として、取得時においてＢ－格相当以上の格付けを有するバンクローン、債券等に投資します。	・ 外貨建資産への投資は行いません。 ・ 有価証券先物取引等を行うことができます。 ・ スワップ取引は効率的な運用に資するため行うことができます。 ・ 金利先渡取引は効率的な運用に資するため行うことができます。
決算日	原則として毎年3月31日	原則として毎年5月および11月の20日
分配方針	原則として毎月分配を行う方針です。	信託財産から生じる利益は、信託終了時まで信託財産中に留保し、分配を行いません。

※ウエスタン・アセット・米国バンクローン（オフショア）ファンド－ＪＰＹ アンヘッジド・クラスについては、資金流入にともない発生する取引費用などによる当該投資信託証券の純資産への影響を軽減するため、資金流入が純流入の場合は純資産価格が上方に、純流出の場合は下方に調整が行われることがあります。したがって、資金流入の動向が純資産価格に影響を与えることになります。

(1) 運用計算書

(A) ウエスタン・アセット・米国バンクローン（オフショア）ファンドーＪＰＹ アンヘッジド・クラス

現時点で入手し得る直近の決算データが存在しないため、掲載しておりません。

(B) マネー・マーケット・マザーファンド

19頁の損益の状況をご参照ください。

(2) 純資産変動計算書

ウエスタン・アセット・米国バンクローン（オフショア）ファンドーＪＰＹ アンヘッジド・クラス

現時点で入手し得る直近の決算データが存在しないため、掲載しておりません。

(3) 投資有価証券明細表

(A) ウエスタン・アセット・米国バンクローン（オフショア）ファンドーＪＰＹ アンヘッジド・クラス

現時点で入手し得る直近の決算データが存在しないため、掲載しておりません。

(B) ウエスタン・アセット・米国バンクローン（オフショア）ファンド

現時点で入手し得る直近の決算データが存在しないため、掲載しておりません。

(C) マネー・マーケット・マザーファンド

18頁の組入資産の明細をご参照ください。

マネー・マーケット・マザーファンド

《第21期》決算日2015年5月20日

〔計算期間：2014年11月21日～2015年5月20日〕

「マネー・マーケット・マザーファンド」は、5月20日に第21期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第21期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	わが国の短期公社債等を中心に投資し、利子等収益の確保を図ります。なお、市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。
主 要 運 用 対 象	わが国の公社債等を主要投資対象とします。
主 な 組 入 制 限	外貨建資産への投資は行いません。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
		期 騰 落	中 率			
	円		%	%	%	百万円
17期(2013年5月20日)	10,174		0.0	84.0	—	2,855
18期(2013年11月20日)	10,178		0.0	87.7	—	2,850
19期(2014年5月20日)	10,180		0.0	84.7	—	2,716
20期(2014年11月20日)	10,183		0.0	84.3	—	2,373
21期(2015年5月20日)	10,183		0.0	89.3	—	1,959

(注) 当ファンドは主として短期債券、コール・ローンなどによる運用を行い、安定的な収益の確保をめざすファンドであり、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
		騰 落	率		
(期 首)	円		%	%	%
2014年11月20日	10,183		—	84.3	—
11月末	10,183		0.0	90.0	—
12月末	10,183		0.0	85.3	—
2015年1月末	10,183		0.0	92.4	—
2月末	10,183		0.0	82.7	—
3月末	10,183		0.0	93.7	—
4月末	10,183		0.0	94.2	—
(期 末)					
2015年5月20日	10,183		0.0	89.3	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

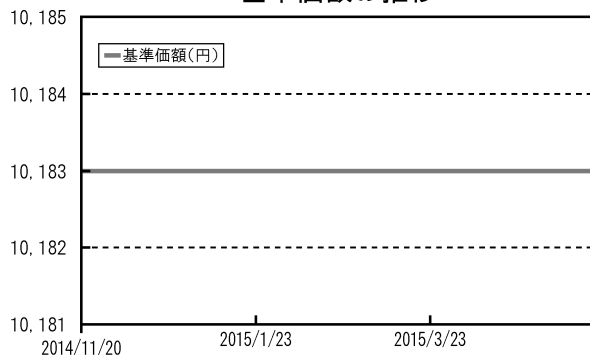
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ横ばいとなりました。

基準価額の推移



●投資環境について

◎国内短期金融市場

期中の短期金融市場を見ると、日銀は「量的・質的金融緩和」をめざし、マネタリーベースを操作目標として金融市場調節を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）は安定的に推移し、2015年5月20日のコール・レートは0.069%となりました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

コール・ローン等短期金融商品を活用しつつ、残存期間の短い国債を中心に組み入れ、利子等収益の確保を図りました。その結果、利子等収益を獲得したものの、組入債券が小幅に下落したことなどから基準価額は横ばいとなりました。

○今後の運用方針

◎運用環境の見通し

- ・国内景気は緩やかな回復局面に向かうものと思われませんが、デフレ脱却に向けて日銀は「量的・質的金融緩和政策」を当面維持することが見込まれます。そうした環境下、短期金利は低位安定推移になると予想しています。

◎今後の運用方針

- ・運用の基本方針および前述の見通しに基づき、短期金融商品を活用しつつ、残存期間の短い国債を中心に投資し安定した収益の確保をめざしていく方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2014年11月21日～2015年 5 月20日)

該当事項はございません。

○ 売買及び取引の状況

(2014年11月21日～2015年 5 月20日)

公社債

		買 付 額	売 付 額
国 内	国債証券	千円 21, 730, 623	千円 20, 430, 686 (1, 550, 000)

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) () 内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○ 利害関係人との取引状況等

(2014年11月21日～2015年 5 月20日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況 B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況 D	
			$\frac{B}{A}$			$\frac{D}{C}$
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公社債	7, 299	2, 999	41. 1	5, 999	700	11. 7
現先取引(公社債)	14, 430	5, 350	37. 1	14, 430	5, 350	37. 1

(注) 公社債には現先などによるものを含みません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第 1 項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱 U F J モルガン・スタンレー証券、モルガン・スタンレー M U F G 証券です。

○組入資産の明細

(2015年5月20日現在)

国内公社債

(A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期			末			
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	1,750,000 (1,400,000)	1,750,095 (1,399,994)	89.3 (71.4)	— (—)	— (—)	— (—)	89.3 (71.4)
合 計	1,750,000 (1,400,000)	1,750,095 (1,399,994)	89.3 (71.4)	— (—)	— (—)	— (—)	89.3 (71.4)

(注) ()内は非上場債で内書き。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) 現先の組み入れがある場合、現先は国債証券に含めて記載。

(B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期			
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	%	千円	千円	
第522回国庫短期証券	—	300,000	300,000	2015/7/6
第532回国庫短期証券	—	1,100,000	1,099,994	2015/8/17
第331回利付国債(2年)	0.1	200,000	200,050	2015/8/15
第332回利付国債(2年)	0.1	150,000	150,051	2015/9/15
合 計		1,750,000	1,750,095	

○投資信託財産の構成

(2015年5月20日現在)

項 目	当 期	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	1,750,095	89.3
コール・ローン等、その他	210,300	10.7
投資信託財産総額	1,960,395	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2015年5月20日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,960,395,399
コール・ローン等	210,220,805
公社債(評価額)	1,750,095,800
未収利息	78,794
(B) 負債	802,372
未払解約金	802,372
(C) 純資産総額(A－B)	1,959,593,027
元本	1,924,361,734
次期繰越損益金	35,231,293
(D) 受益権総口数	1,924,361,734口
1万口当たり基準価額(C／D)	10,183円

<注記事項>

①期首元本額	2,330,826,446円
期中追加設定元本額	10,374,332,763円
期中一部解約元本額	10,780,797,475円

○損益の状況 (2014年11月21日～2015年5月20日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	414,231
受取利息	414,231
(B) 有価証券売買損益	△ 313,122
売買益	101,626
売買損	△ 414,748
(C) 当期損益金(A＋B)	101,109
(D) 前期繰越損益金	42,568,332
(E) 追加信託差損益金	189,850,117
(F) 解約差損益金	△197,288,265
(G) 計(C＋D＋E＋F)	35,231,293
次期繰越損益金(G)	35,231,293

(注) B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

三菱UFJ DC金利連動アロケーション型バランスファンド	288,416,273円
三菱UFJ 新興国通貨建て債券ファンド(毎月決算型)	5,226,135円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<円コース>(毎月分配型)	14,525,380円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース>(毎月分配型)	2,727,794円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<ユーロコース>(毎月分配型)	101,543円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>(毎月分配型)	81,714,442円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	152,186,197円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<南アフリカランドコース>(毎月分配型)	429,650円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース>(毎月分配型)	7,467,710円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>	485,467,302円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<中国元コース>(毎月分配型)	128,906円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<インドネシアルピアコース>(毎月分配型)	1,799,230円
ブラデスコ ブラジル成長株オープン・マネーボール・ファンド	2,017,437円
米国ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<円コース>(毎月分配型)	248,106円
米国ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>(毎月分配型)	712,999円
米国ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	862,076円
米国ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<新興国バスケット通貨コース>(毎月分配型)	299,514円
米国ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>	981,935円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース>(毎月分配型)	374,779円
PIMCO ニューワールド円インカムファンド(毎月分配型)	42,384,248円
PIMCO ニューワールド米ドルインカムファンド(毎月分配型)	3,558,532円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース>(毎月分配型)	35,941,494円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	938,449円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<円コース>(毎月分配型)	358,088円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>(毎月分配型)	2,100,667円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	3,836,590円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース>(毎月分配型)	923,745円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>	5,525,461円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<円コース>(毎月分配型)	23,152,810円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース>(毎月分配型)	5,011,602円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>(毎月分配型)	4,071,402円

三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (毎月分配型)	43,682,881円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース> (毎月分配型)	389,070円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<アジアバスケット通貨コース> (毎月分配型)	780,306円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>	29,100,616円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)	2,221,253円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<ユーロコース> (毎月分配型)	1,784,459円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)	2,576,702円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (毎月分配型)	3,148,614円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース> (毎月分配型)	67,305円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>	3,492,620円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド ユーロ円プレミアム (毎月分配型)	78,483,503円
欧州ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジあり)	2,069,498円
欧州ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジなし)	1,726,413円
新興国ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジあり)	1,068円
新興国ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジなし)	20,706円
三菱UFJ 米国リートファンドA<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	491,836円
三菱UFJ 米国リートファンドB<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	98,368円
三菱UFJ / UBS グローバル好利回C/Bファンド2012-11 (円ヘッジ) (限定追加型)	10,816,126円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<メキシコペソ> (毎月分配型)	47,835,444円
PIMCO ニューワールド円インカムファンド (年2回分配型)	168,137円
PIMCO ニューワールド米ドルインカムファンド (年2回分配型)	472,643円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース> (年2回分配型)	20,660円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<ブラジルリアルコース> (年2回分配型)	20,637円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<メキシコペソコース> (年2回分配型)	2,438,810円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (毎月分配型)	4,073,259円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)	688,506円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (毎月分配型)	19,658円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (毎月分配型)	19,658円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)	19,658円
三菱UFJ 米国高配当株式プラス<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	491,449円
三菱UFJ 米国高配当株式プラス<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	9,828,976円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<世界通貨分散コース> (毎月分配型)	19,255,183円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	554,804円
バリュー・ボンド・ファンド<為替リスク軽減型> (毎月決算型)	1,936,118円
バリュー・ボンド・ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	9,829円
バリュー・ボンド・ファンド<為替リスク軽減型> (年1回決算型)	9,829円
バリュー・ボンド・ファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	9,829円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)	15,049,666円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (毎月分配型)	20,551,717円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)	3,730,759円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (毎月分配型)	5,059,469円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (毎月分配型)	5,191,741円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)	252,058円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ロシアルーブルコース> (毎月分配型)	6,618,213円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (年2回分配型)	3,737,703円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (年2回分配型)	6,435,081円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (年2回分配型)	686,803円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (年2回分配型)	627,788円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (年2回分配型)	608,110円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (年2回分配型)	46,726円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ロシアルーブルコース> (年2回分配型)	895,906円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンドA>	36,583,200円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンドB>	980,075円
三菱UFJ / ビムコ トータル・リターン・ファンド<米ドルヘッジ型> (毎月決算型)	1,423,307円
三菱UFJ / ビムコ トータル・リターン・ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	3,270,787円
三菱UFJ / ビムコ トータル・リターン・ファンド<米ドルヘッジ型> (年1回決算型)	1,168,184円
三菱UFJ / ビムコ トータル・リターン・ファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	2,065,331円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Cコース (為替ヘッジなし) (年1回決算型)	983円

ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Dコース (為替ヘッジあり) (年1回決算型)	983円
三菱UFJ/UBS グローバル好利回CBファンド2013-11 (円ヘッジ) (限定追加型)	982,608円
三菱UFJ/ビムコ トータル・リターン・ファンド2014	256,356円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジあり> (毎月分配型)	2,827,156円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジなし> (毎月分配型)	9,387,547円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	3,545,187円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	8,124,755円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり> (年1回決算型)	2,990,177円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	3,377,211円
PIMCO インカム戦略ファンド<円インカム> (毎月分配型)	151,268円
PIMCO インカム戦略ファンド<円インカム> (年2回分配型)	168,922円
PIMCO インカム戦略ファンド<米ドルインカム> (毎月分配型)	1,674,507円
PIMCO インカム戦略ファンド<米ドルインカム> (年2回分配型)	658,018円
PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース> (毎月分配型)	9,991,470円
PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	1,616,484円
三菱UFJ/AMP オーストラリア・ハイインカム債券ファンド 豪ドル円プレミアム (毎月決算型)	25,537,767円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 米ドル円プレミアム (毎月分配型)	42,906,570円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 米ドル円プレミアム (年2回分配型)	8,585,548円
Navi o インド債券ファンド	885,566円
Navi o マネーボールファンド	1,412,300円
三菱UFJ インド債券オープン (毎月決算型)	39,351円
バンクローンファンドUSA (為替ヘッジあり) 2014-08	11,276,260円
マネーボールファンド (FOFs用) (適格機関投資家限定)	116,474円
MUAM トピックスリスクコントロール (5%) インデックスファンド (FOFs用) (適格機関投資家限定)	132,261,881円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Aコース (為替ヘッジなし)	16,982,851円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Bコース (為替ヘッジあり)	34,396,392円
三菱UFJ バランス・イノベーション (債券重視型)	22,527,760円
三菱UFJ/AMP オーストラリアREITファンド<Wプレミアム> (毎月決算型)	11,293,333円
三菱UFJ Jリート不動産株ファンド<Wプレミアム> (毎月決算型)	6,324,266円
三菱UFJ Jリート不動産株ファンド<米ドル投資型> (3ヵ月決算型)	3,063,931円
PIMCO 米国バンクローンファンド<米ドルインカム> (毎月分配型)	1,375,824円
PIMCO 米国バンクローンファンド<米ドルインカム> (年2回分配型)	1,071,396円
マルチストラテジー・ファンド (ラップ向け)	491,015円
PIMCO 米国バンクローンファンド<世界通貨分散コース> (毎月分配型)	348,621円
PIMCO 米国バンクローンファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	59,905円
PIMCO 米国バンクローンファンド<円インカム> (年2回分配型)	10,804円
PIMCO 米国バンクローンファンド<円インカム> (毎月分配型)	10,804円
三菱UFJ 債券バランスファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	983円
三菱UFJ 債券バランスファンド<為替リスク軽減型> (年1回決算型)	983円
三菱UFJ 債券バランスファンド<為替リスク軽減型> (毎月決算型)	983円
三菱UFJ 債券バランスファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	983円
三菱UFJ バランス・イノベーション (株式抑制型)	0円
三菱UFJ DCバランス・イノベーション (KAKUSHIN)	0円
MUAM トピックスリスクコントロール (10%) インデックスファンド (FOFs用) (適格機関投資家限定)	0円
三菱UFJ バランス・イノベーション (新興国投資型)	0円
三菱UFJ バランス・イノベーション (株式重視型)	0円
合計	1,924,361,734円

【お知らせ】

デリバティブ取引等のリスク量計算を規格化し、定量的に規制する旨を信託約款に記載し、所要の変更を行いました。
(2014年12月1日)